

繪入
小倉

百人一首

全



跡見
大藏
館書

喜雨閑人校訂

繪入
小倉
百人一首

全

東京
深松堂藏

定家卿小倉
之山庄ニテ
百人一首ヲ
撰ミ給フ圖



國
輝
畫

天智天皇

秋の田の赤ほ
庵のままと
あふこ

我あちあふは
慮不ぬまろ

柿本人麿

豆袋の山老の
木の老う尾の
おののく一夜を

狸のの福登

猿丸大夫

奥山まのみお踏
鳴鹿の
あふきく時を



持統天皇

春まなくまきた
あふ白妙
夜回まふあふの
あふやま

山邊赤人

因の船のうらふ
みまを白妙の
婦のうらふ

中納言家持

静のむね
松よをくお相の
あふきまみま
秋そまふり



安倍仲磨

あまは系あ
兄族あ
みりさめあ

いけり月も

小野小町

花の色くらり
いざらふ
我身よあふ

あふせま

叅議 篁

あ田のまら
八十あふ
こきあぬと

人あふはあふ
あまのあ



喜樞法師

あふ考れまこの
あふ之麻をま
よ様らあふ
あふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

僧正 遍照

あまあふあふ
あふあふあふ
あふあふあふ

あふあふあふ



陽成院

はくちのま
よおたる
兄の川
あひそいで
深とありぬ



光孝天皇

君るる妻の
照ふつて
はまつむ
我れさか
きらさつ



在原の業平朝臣

子早ゆ秋代わ
きらま
さう、川
かみしれあふ
水さるるとい



伊勢

冠りて兄いふ
あかすの
あひて此世
ま、くよとや



素性法師

今とむといひ
まらふそ月乃
有ぬの月と
まらあう船



大江千里

月足橋を
物だ
かれしなれ
つらひとら
秋子とあふねと



河原左大臣

みちの舟まのふ
あちま
たれゆふ
いふそあふ
わあふあふ



中納言行平

まのわの
のあふ
まらに
まらに
まらに



藤原敏行朝臣

侍のえみき
よる
よる
かよひちくちよくらん



元良親王

まのわ
まのわ
まのわ
まのわ



文屋康秀

吹くそ
まのわ
まのわ
まのわ



菅家

あのを
まのわ
まのわ
まのわ
まのわ



三條右大臣

名おたり

あふさふ山の
はらうらうら
人おまきわて
くまうらうら



中納言兼輔

忍ははき
あまき
つるこ川
つるこきとてら
老なるん



九河内親直

いあさうねらふ
おとしん
初まわの
たまきとては
あふさふの花



貞信公

小倉山王孫の
あふさふ
今こころの
侍幸まこころん



源宗千朝臣

山さほおを
はひきまき
人もまき
かまねと思え



壬生忠峯

有明の
つるこ
あふさふ
あふさふ
あふさふ



春道列樹

山さほおの
あふさふ
あふさふ
あふさふ



藤原興風

信まうとて
あふさふ
あふさふ
あふさふ



清原深養父

夏の花はま
あふさふ
あふさふ
あふさふ



紀貫之

人あふさふ心も
あふさふ
あふさふ
あふさふ



紀友則

久あふさふのひり
あふさふ
あふさふ
あふさふ



坂上是則

影あふさふ有明の
月とてらまてふ
あふさふ
あふさふ



文屋 朝康

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多

志多 志多 志多



右 近

忘らるる身

思ふはちい

人の命は

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね

たしくもあらね



中納言 敦忠

よあひての

後のあま

くふわ

あつらひの

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま



中納言 朝忠

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま



源 重之

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

源 重之

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

大中臣能宣朝臣

御守衛士

火のむす
ひつら
きつら

藤原実方朝臣

か
い
い
は

右大將道綱母

あけ
ひ
ぬ
ひ

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ



藤原義孝

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

藤原道信朝臣

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

儀同三司母

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ



大納言公任

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

紫式部

あ
あ
あ
あ

赤染衛門

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ



和泉式部

あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ

大貳三位

あ
あ
あ
あ

小式部内侍

あ
あ
あ
あ

大江山内侍



伊勢大輔

いせのたすけ

八重橋

白ひぬるうら

左京大夫道雅

今むらたの

人信

榎横

根こしらひ

神と申あつた

名こそわかれ



清少納言

あきと

けつろ

よふあふさ

権中納言定頼

川

前大僧正行尊

花

あ

あ



周防内侍

春の夜のまは

かひれ

能因法師

あはし

あ

大納言經信

夕

あ

あ



三條院

あ

あ

良運法師

あ

あ

あ

あ

あ

あ



前中納言匡房
さくらのたのみの
さくら、つばき

和泉の
さくら、つばき
あまの

藤原基俊

あまの
さくら、つばき
あまの

崇徳院

山
さくら、つばき
あまの

左京大夫頭補

あまの
さくら、つばき
あまの

後徳大寺左大臣

あまの
さくら、つばき
あまの

皇太后宮大夫俊成

あまの
さくら、つばき
あまの



源俊頼朝臣
さくら、つばき

あまの
さくら、つばき
あまの

法性寺入道前良賢臣

あまの
さくら、つばき
あまの

源兼昌

あまの
さくら、つばき
あまの

持賢門院堀川

あまの
さくら、つばき
あまの

道因法師

あまの
さくら、つばき
あまの

藤原清輔朝臣

あまの
さくら、つばき
あまの



俊惠法師

あまのまこと
おのゝり
あまのまこと
あまのまこと



舜蓮法師

あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと



式子内親王

あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと



西行法師

あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと



皇嘉門院別当

あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと



殷富門院大夫

あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと



後京極攝政前大臣

あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと



鎌倉右大臣

あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと



前大僧正慈円

あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと



二条院讃岐

あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと



藤原雅經

あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと



入道前大臣

あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと
あまのまこと



跡見学園女子大学短期大学部図書館



a 0010126001a

權中納言定家

大ぬくやまら
うの
るくちの
身もちり



後鳥羽院

ひとたけ
うら
せはふ
ゆふ



正三位家隆

爪まぐあまの
小川の
みまを夏
ちり



順徳院

百しや
新たの
むあまの
芳あり



明治廿四年 月 日 印刷
全 年 月 日 出版

東京市本所区横綱町二百十八番地
印刷兼 發行者 鎌田在明

123773

